


沖縄タイムス 8月29日



IOC会長 「開催都市の意向反映」 空手に追い風

野球・空手 ソフトボール

「開催都市の意向反映」



トマス・巴赫
Thomas Bach

【南京共同】国際オリンピック委員会（IOC）のバツハ会長＝写真＝は28日、中国の南京で共同通信の取材に応じ、将来的に五輪実施競技の選択に開催都市の意向を反映させる考えを明らかにした。同会長は「実施競技に柔軟性を持たせる一つの方法として、開催都市の意見を取り入れた」と語った。

実施競技は大会組織委員会と協議した上で「最終的にはIOC総会で決定する」とした。

IOCは現在取り組んでいる中長期的な改革「五輪アジェンダ2020」で、開催都市に実施競技の選択権を与える案も検討している。12月には改革案をまとめ、夏季五輪の競技数の上限28を撤廃する方針。

バツハ会長は2020年東京五輪で野球とソフトボールや空手が採用される可能性については「改革案が承認されることが先決。IOCがそれを東京に適用できると判断すれば、意見を聞いて検討する」と話した。

五輪競技でIOC会長

空手道の2020年オリンピック正式種目化を推進する会